

高野 泉

一般社団法人ふたばプロジェクト 代表理事

昭和 26 年 (1951)、双葉町生まれ。 1969 年、双葉町役場入庁。議会事務局など課長職を歴任。 2011 年 3 月、退職を目前に被災し、役場機能の再構築に奔走。 2011 年 4 月、退職。2014 年 6 月、双葉町社会福祉協議会事務局長に就任 (2016 年から会長)。2020 年 7 月より現職も務める。

2011年3月12日、双葉町の参事兼総務課長として、他の数人の課長職等とともに最後まで町に残り、自力避難が難しい入院患者や高齢者を避難させ、最初の避難先、川俣町を目指しました。同年3月末で定年退職の予定を4月末まで延長し、町民、組織編成、国やマスコミの対応にあたりました。大変だったのは、役場機能の再構築。住民基本台帳もなければ、パソコンもない。双葉町埼玉出張所を設置するため条例をつくらなければならない。同じようなケースがないか調べて、椅子だけを並べて議会を開き、条例案を可決し、3月19日の出張所開設にこぎつけました。寝る間もなく働いた結果、体調を崩してしまい、人手不足の現場から去る心苦しさを感じながらも、4月末で定年退職しました。2014年に社会福祉協議会の事務局長を引き受けたのは、人手不足のなか一生懸命働く職員、帰還に向けた陣頭指揮を執る伊澤町長の町復興に対する想いに少しでも協力できればとの思いからです。

2020年には、2022年の帰還に向けて組織されたふたばプロジェクトの代表理事に就任。町の未来を担う若い人たちには、町の歴史を踏まえ、町に戻りたい人はもちろん、町で暮らしたい人たちと一緒に新しい歴史をつくってほしいですね。



2011 年 3 月 11 日からの慌ただしい日々を記録したノート。 課題は山積みだが、希望もかすかに見えてきた